

まつしん

MatsuShin
Business
Report

No. 152

景況 レポート

CONTENTS

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

業種別の業況

⑦ ⑧

経済指標

⑨ ⑩

特別調査

「中小企業の将来を見据えた事業承継について」



ナイスコミュニケーション

二本松信用金庫

調 査 要 綱

1. 調査時期 2023年9月
2. 調査対象期間 2023年7～9月期（実績）
2023年10～12月期（予想）
3. 調査方法 当金庫職員による聴き取りおよび留め置き調査
4. 調査対象 当金庫取引先事業所
5. 調査対象企業数・有効回答数等の内容

区 分	調査対象企業数	有効回答数	有効回答率(%)
製 造 業	59	59	100.0%
小 売 業	58	57	98.3%
サ ー ビ ス 業	47	47	100.0%
建 設 業	49	49	100.0%
合 計 (総 合)	213	212	99.5%

6. 分析の方法
















この調査は、各質問項目に企業の総回答数に対する「良い（増加等）」および「やや良い（やや増加等）」と回答した企業の割合と、「やや悪い（やや減少等）」および「悪い（減少等）」と回答した企業の割合との差D Iを中心に分析を行っています。

※ D I（業況判断）＝「良い・やや良い」－「悪い・やや悪い」企業数構成比（％）

傾向値＝（4期前～前期までの合計＋3期前～今期までの合計）÷8

傾向値は4期間2段階の移動平均法で算出した数値です。

概 況(総合)

区 分	2023年 4月～6月	2023年 7月～9月	2023年 10月～12月予想	概 要(総合)
総 合				<p>2023年4～6月期（今期）の業況判断D Iは▲29.7となり、前期比3.8ポイント良化しました。</p> <p>主要指標D Iは、売上額が▲14.6（前期比0.9ポイント悪化）、収益が▲26.9（同2.8ポイント悪化）、資金繰りは▲16.5（同1.0ポイント良化）となり、資金繰りは若干改善するものの減収減益傾向にあります。設備投資実施企業割合は22.6%となり、前期比3.3ポイント減少しました。</p> <p>業種別の業況判断D Iは、製造業が▲28.8（前期比11.9ポイント良化）、小売業が▲36.8（前期比1.8ポイント良化）、サービス業が▲25.5（同5.9ポイント悪化）、建設業が▲26.5（同5.5ポイント良化）となり、今期は4業種中3業種の業況が良化しました。特に製造業の改善が顕著となっております。</p> <p>来期の予想業況判断D Iは、0.9ポイント良化の▲28.8となり業況の改善が若干ながら予想されます。</p> <p>また、業種別の予想業況判断D Iにおいては、製造業が28.8（同 変動無し）、小売業が▲42.1（同5.3ポイント悪化）、サービス業が14.9（同10.6ポイント良化）、建設業が▲26.5（同、変動無し）となっており、製造業と建設業は横這い予想にあり、小売業は業況悪化の予想ながらサービス業は大幅改善が期待されております。以上のように業種間にて今後の業況は大きく差異が発生する見込みにあります。</p>
製 造 業				
小 売 業				
サ ー ビ ス 業				
建 設 業				

（このお天気マークは、景気指標を総合判断したものです。）

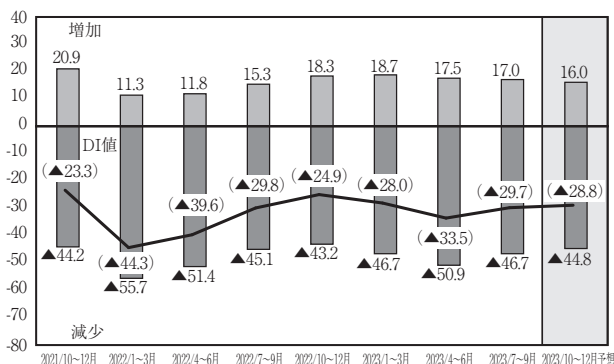
指数 31以上 30.9～21 20.9～10 9.9～-9.9 -10～-20.9 -21～-30.9 -31以下

好調 ←         → 低調

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月予想
業況判断	▲ 23.3	▲ 44.3	▲ 39.6	▲ 29.8	▲ 24.9	▲ 28.0	▲ 33.5	(▲35.8) ▲ 29.7	▲ 28.8

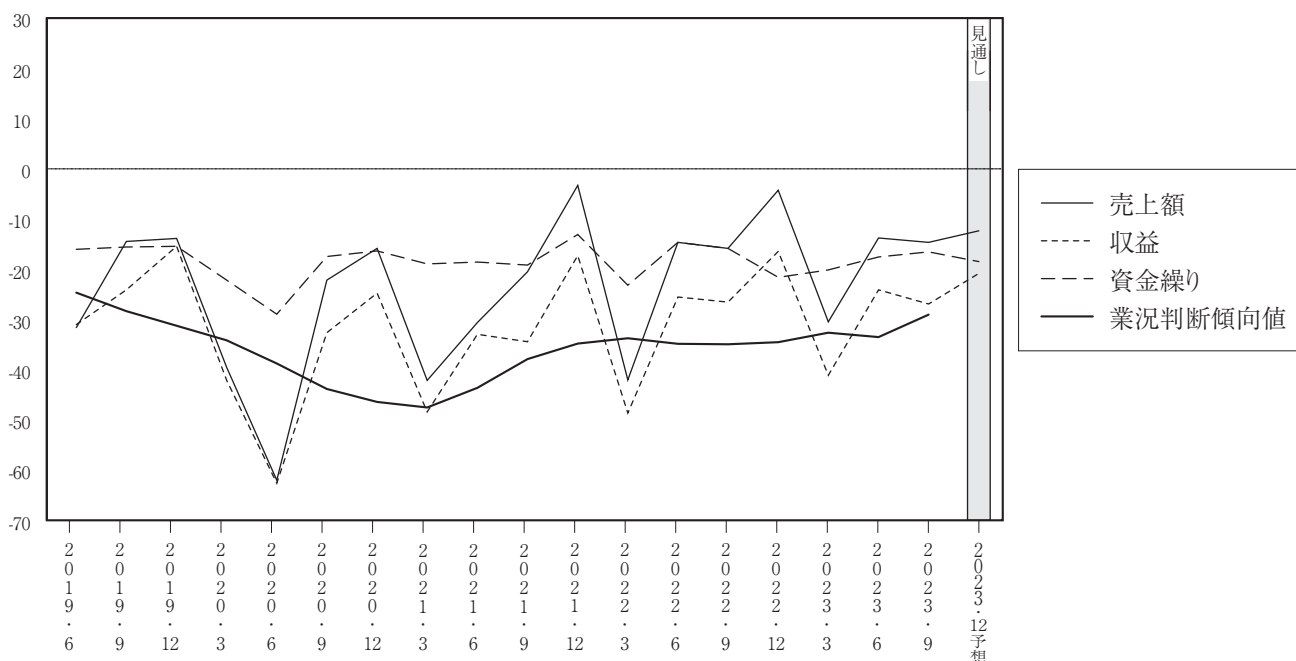
●業況判断



●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)
〔前期と比べて〕

	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月予想
売上額	▲ 15.8	▲ 4.2	▲ 30.4	▲ 13.7	(▲ 17.5) ▲ 14.6	▲ 12.3
収益	▲ 26.5	▲ 16.4	▲ 41.1	▲ 24.1	(▲ 21.7) ▲ 26.9	▲ 20.8
資金繰り	▲ 15.8	▲ 21.6	▲ 20.1	▲ 17.5	(▲ 17.9) ▲ 16.5	▲ 18.4
業況判断傾向値	▲ 34.9	▲ 34.5	▲ 32.6	▲ 33.5	▲ 29.0	

●指標の推移状況(DI値)



●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2023年 7月~9月	2023年 10月~12月
1	売上の停滞・減少 50.5	売上の停滞・減少 47.6
2	利幅の縮小 28.3	人手不足 28.8
3	人手不足 27.8	利幅の縮小 27.8
4	材料価格上昇 25.5	材料価格上昇 26.4
5	仕入先からの値上げ要請 16.5	人件費の増加 15.1

・企業数割合(上位5項目)

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

順位	2023年 7月~9月	2023年 10月~12月
1	経費の節減 54.7	経費の節減 57.1
2	人材の確保 28.3	人材の確保 29.2
3	販路の拡大 26.9	販路の拡大 25.9
4	技術力の強化 17.0	技術力の強化 15.6
5	情報力の強化 14.2	情報力の強化 10.8

・企業数割合(上位5項目)

製造業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月予想
業況判断	▲20.3	▲25.4	▲25.4	▲40.7	(▲28.8) ▲28.8	▲28.8

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月予想
設備の水準	▲23.7	▲22.0	▲11.9	▲18.6	(▲20.3) ▲15.3	▲18.6
設備投資した企業割合				設備投資予定のある企業割合		
	27.1%			23.7%		

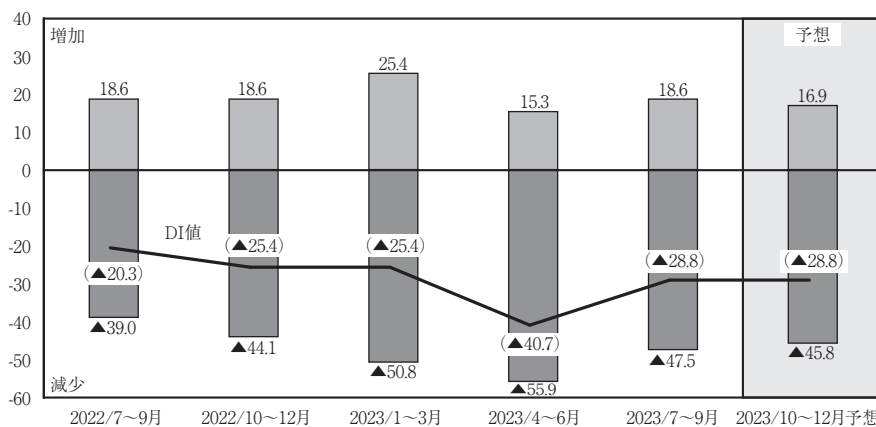
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

[前期と比べて]

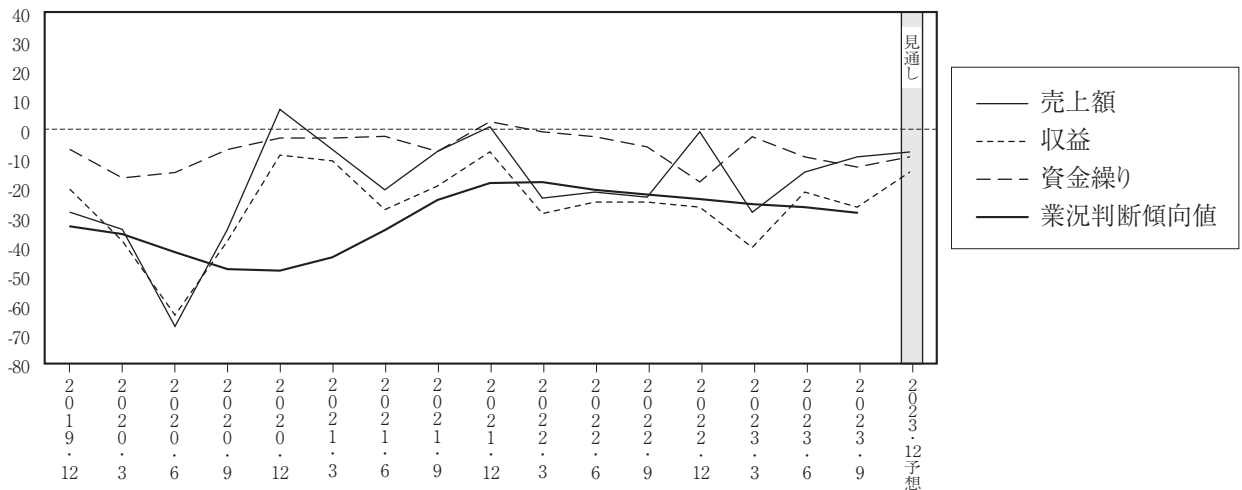
カッコ内は前回調査時予想

	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月予想
売上額	▲23.7	▲1.7	▲28.8	▲15.3	(▲0.0) ▲10.2	▲8.5
収益	▲25.4	▲27.1	▲40.7	▲22.0	(▲10.2) ▲27.1	▲15.3
資金繰り	▲6.8	▲18.6	▲3.4	▲10.2	(▲6.8) ▲13.6	▲10.2

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



今期の業況判断DIは▲28.8となり、マイナス値ながら前回より11.9ポイント良化しており改善傾向にあります。

主要指標DIは、売上額は▲10.2(前期比5.1ポイント良化)、収益▲27.1(同5.1ポイント悪化)、資金繰りは▲13.6(同3.4ポイント悪化)となっており増収減益の企業が多い結果となっております。また、今期設備投資をした企業は27.1%となり前期比同等にて積極的な設備投資には至っていない企業が多い状況です。

来期の予想DIは、売上額は▲8.5(1.7ポイント良化)の予想にあり、収益が▲15.3(11.8ポイント良化)、資金繰りが3.4ポイント良化の▲10.2となり、主要指数ではコスト高騰に対する価格転嫁が進み、収益が改善されると見込まれています。また、当面の重点経営施策において「人材の確保」が多くの企業で課題として上がってきており、労働力の不足が懸念されています。

●経営上の問題点

(単位: %、複数回答)

順位	2023年 7月~9月	2023年 10月~12月
1	売上げの停滞・減少 52.5	売上げの停滞・減少 52.5
2	原材料価格高騰 45.8	原材料価格高騰 40.7
3	利幅の縮小 33.9	利幅の縮小 28.8

●当面の重点経営施策

(単位: %、複数回答)

順位	2023年 7月~9月	2023年 10月~12月
1	経費の削減 52.5	経費の削減 55.9
2	販路の拡大 45.8	販路の拡大 50.8
3	情報力強化 32.2	人材の確保 28.8

小 売 業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月予想
業況判断	▲58.6	▲40.4	▲47.4	▲38.6	▲36.8	▲42.1

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月予想
設備の水準	▲10.3	▲19.3	8.8	▲17.5	▲22.8	▲24.6
設備投資した企業割合	10.5%			22.8%		

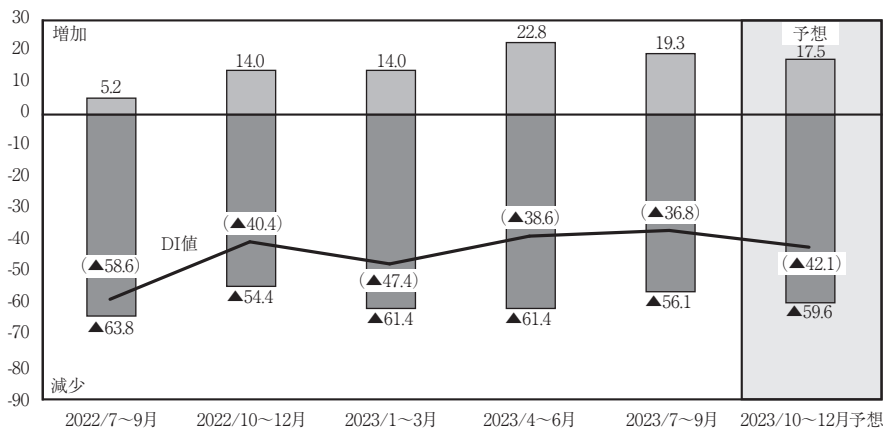
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

[前期と比べて]

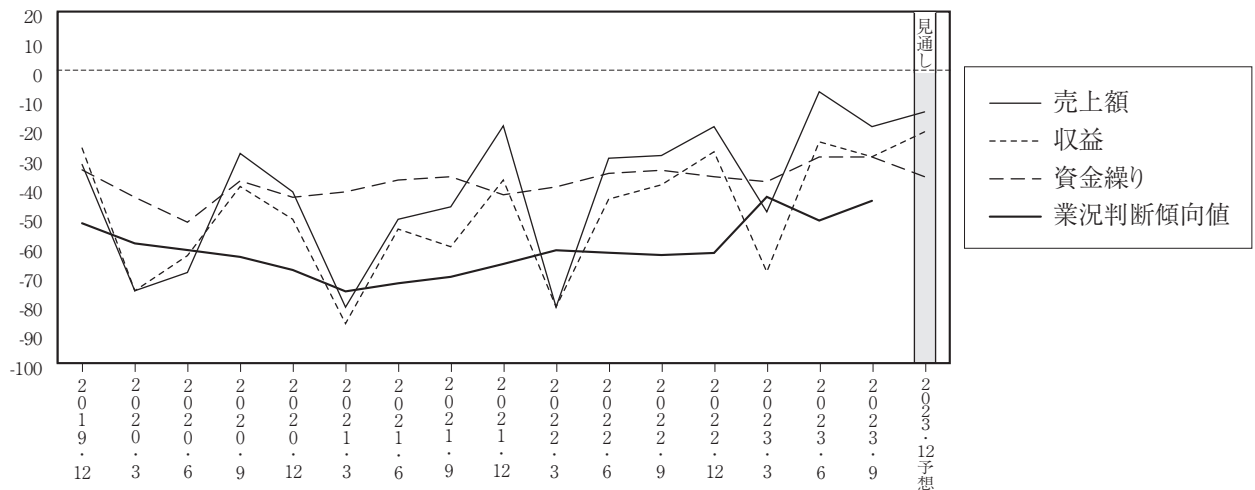
カッコ内は前回調査時予想

	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月予想
売上額	▲27.6	▲17.5	▲47.4	▲5.3	▲17.5	▲12.3
収 益	▲37.9	▲26.3	▲68.4	▲22.8	▲28.1	▲19.3
資金繰り	▲32.8	▲35.1	▲36.8	▲28.1	▲28.1	▲35.1

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



今期の業況判断DIは▲36.8と前期比1.8ポイントの良化となっております。

主要指標DIは、売上額が▲17.5(前期比12.2ポイント悪化)、収益が▲28.1(同5.3ポイント悪化)、資金繰りは▲28.1(同前期同等)となり、主要指数においては資金繰り以外は悪化した結果となっております。また、今期設備投資をした企業は10.5%(前期比5.3ポイント悪化)となり、設備投資も控える企業が多かった結果になっています。

来期の予想DIは、売上額が5.2ポイント良化の▲12.3、収益が8.8ポイント良化の▲19.3、資金繰りが7.0ポイント悪化の▲35.1となり、増収増益の予想ながら資金繰りは悪化する予想となっております。業況判断予想DIも5.3ポイント悪化の▲42.1となりました。また、当面の重点経営施策も「広告・宣伝強化」から「売れ筋商品の取扱開始」へのシフトを検討されている企業が増えている結果になっています。

●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2023年 7月~9月	2023年 10月~12月
1	売上の停滞・減少 64.9	売上の停滞・減少 47.4
2	仕入先からの値上げ要請 45.6	仕入先からの値上げ要請 38.6
3	利幅の縮小 28.1	利幅の縮小 29.8

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

順位	2023年 7月~9月	2023年 10月~12月
1	経費節減 56.1	経費節減 61.4
2	品揃え改善 33.3	品揃え改善 24.6
3	宣伝・広告強化 22.8	売れ筋商品 22.8

サービス業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月予想
業況判断	▲18.8	▲14.9	▲16.7	▲19.6	▲25.5	▲14.9

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月予想
設備の水準	▲8.3	▲25.5	▲18.8	▲23.9	▲21.3	▲23.4
設備投資した企業割合	27.7%			34.0%		

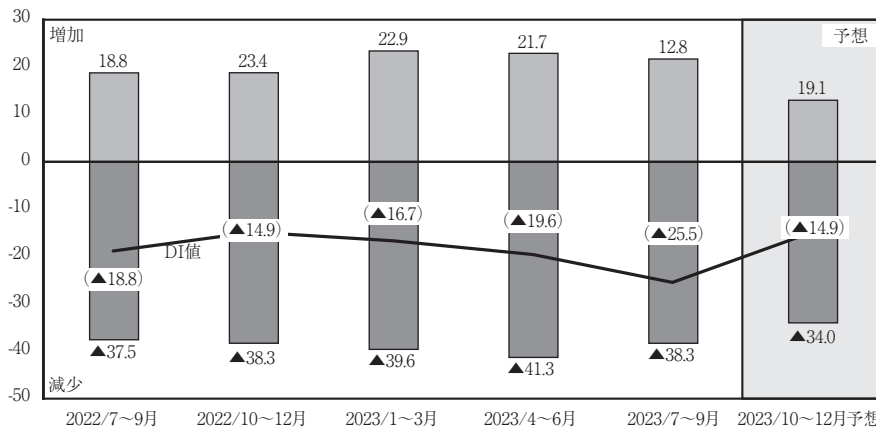
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

(前期と比べて)

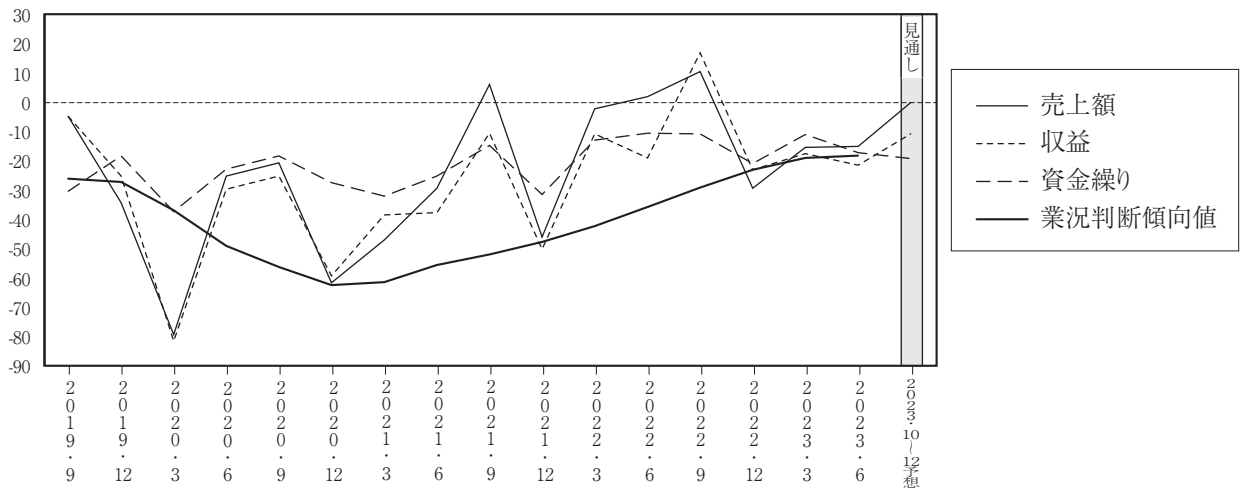
カッコ内は前回調査時予想

	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月予想
売上額	2.1	10.6	▲29.2	▲15.2	▲14.9	▲0.0
収益	▲18.8	17.0	▲22.9	▲17.4	▲21.3	▲10.6
資金繰り	▲10.4	▲10.6	▲20.8	▲10.9	▲17.0	▲19.1

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



今期の業況判断DIは▲25.5となり前期から5.9ポイントの悪化となっております。
 主要指標DIは、売上額が▲14.9（前期比0.3ポイント良化）、収益が▲21.3（同3.9ポイント悪化）、資金繰りが▲17.0（同6.1ポイント悪化）となり、増収減益の結果となっております。また、今期設備投資をした企業は27.7%となり、前期比0.6ポイント悪化しました。
 来期の予想DIは、売上額が0.0ポイントと14.9ポイント良化の見込み、収益は▲10.6と10.7ポイント悪化の予想、資金繰りも21ポイント悪化の▲19.1となり、前期予想の減収増益から増収増益に転じると予想されていますが資金繰りは若干厳しくなると見込まれます。また、業況判断予想DIは10.6ポイント良化の14.9ポイントとなり、上向きの予想となっております。

●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2023年 7月~9月	2023年 10月~12月
1	材料価格の上昇 47.8	材料価格の上昇 46.8
2	売上の停滞・減少 43.5	売上の停滞・減少 44.7
3	人手不足 39.1	人手不足 42.6

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

順位	2023年 7月~9月	2023年 10月~12月
1	経費節減 69.6	経費節減 61.7
2	人材の確保 37.0	人材の確保 44.7
3	販路の拡大 34.8	販路の拡大 23.4

建設業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月予想
業況判断	▲18.0	▲16.0	▲20.0	▲32.0	▲26.5	▲26.5

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月予想
設備の水準	▲4.0	▲14.0	▲2.0	▲2.0	4.1	▲2.0
設備投資した企業割合				設備投資予定のある企業割合		
	26.5%			26.5%		

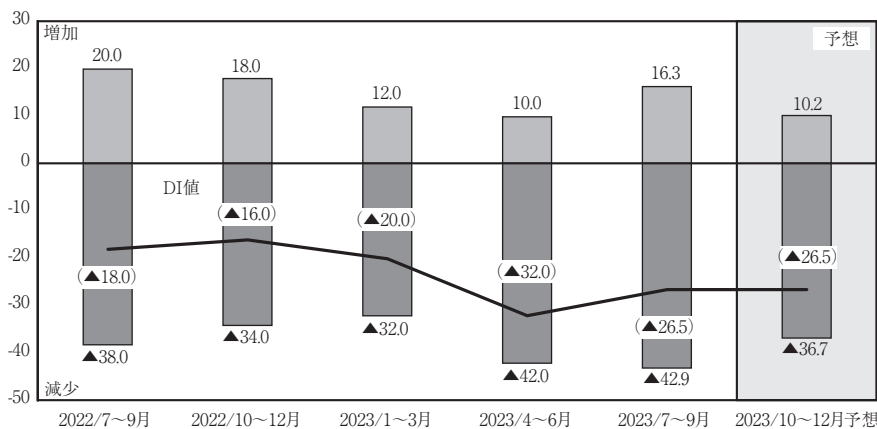
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

[前期と比べて]

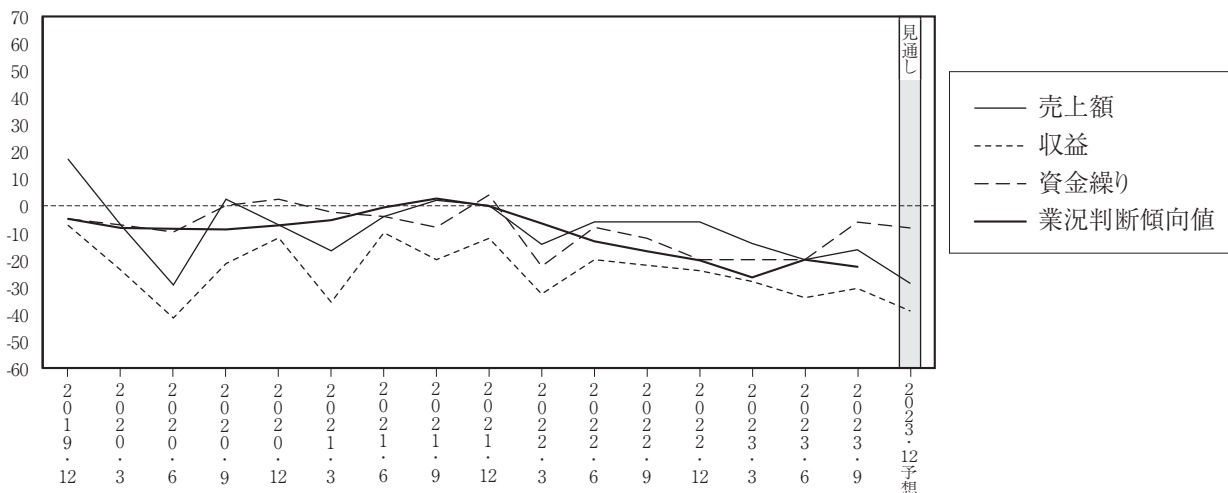
カッコ内は前回調査時予想

	2022/7~9月	2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月予想
売上額	▲6.0	▲6.0	▲14.0	▲20.0	▲16.3	▲28.6
収益	▲22.0	▲24.0	▲28.0	▲34.0	▲30.6	▲38.8
資金繰り	▲12.0	▲20.0	▲20.0	▲20.0	▲6.1	▲8.2

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



今期の業況判断DIは▲26.5となり前期比5.5ポイント良化しました。

主要指標DIは、売上額が▲16.3(前期比3.7ポイント良化)、収益が▲30.6(前期比3.4ポイント良化)、資金繰りが▲6.1(同13.9ポイント良化)となり、いずれも良化傾向と判断されます。また、設備状況DIが4.1ポイントと設備過剰と判断する企業が多かったことより今期設備投資をした企業は26.5%となり7.5ポイント悪化しました。業況判断の予想においては26.5ポイントと変動無しと予想されるものの売上予想は12.3ポイント悪化の▲28.6、収益も同8.2ポイント悪化の▲38.8、収益も同2.1ポイント悪化の▲8.2にあり、減収減益の厳しい状況が続く予想となっております。

●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2023年 7月~9月	2023年 10月~12月
1	材料価格の上昇 64.0	材料価格の上昇 69.4
2	売上停滞・減少 38.0	売上停滞・減少 44.9
3	利幅の縮小 34.0	利幅の縮小 30.6

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

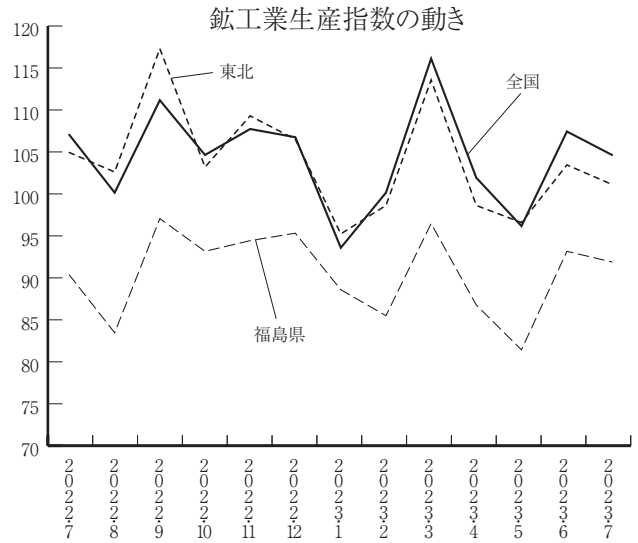
順位	2023年 7月~9月	2023年 10月~12月
1	技術力の強化 50.0	経費削減 49.0
2	経費削減 42.0	技術力の強化 46.9
3	人材の確保 34.0	情報力の強化 30.6

経 済 指 標

鉱工業生産指数（生産）

平成27年(2015年)=100.0

	福島県	東北	全国
2022年7月	90.7	105.7	107.9
2022年8月	83.6	103.3	100.8
2022年9月	97.6	118.4	112.1
2022年10月	93.6	103.9	105.4
2022年11月	94.9	110.2	108.6
2022年12月	95.8	107.3	107.6
2023年1月	88.9	95.7	94.0
2023年2月	85.7	99.2	100.8
2023年3月	97.0	114.6	117.2
2023年4月	87.0	99.2	102.6
2023年5月	81.5	97.1	96.7
2023年6月	93.6	104.2	108.3
2023年7月	92.3	101.8	105.4

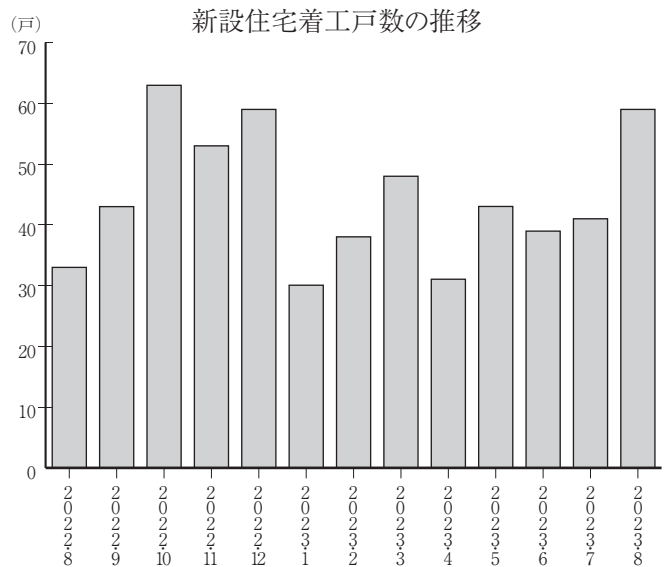


(資料:県統計課産業統計)

安達地方新設住宅着工戸数

(単位:戸)

	二本松市	本宮市	安達郡 (大玉村)	合 計
2022年8月	14	16	3	33
2022年9月	19	17	7	43
2022年10月	25	36	2	63
2022年11月	12	38	3	53
2022年12月	35	21	3	59
2023年1月	13	9	8	30
2023年2月	22	11	5	38
2023年3月	27	9	12	48
2023年4月	9	12	10	31
2023年5月	10	15	18	43
2023年6月	12	20	7	39
2023年7月	15	24	2	41
2023年8月	23	32	4	59

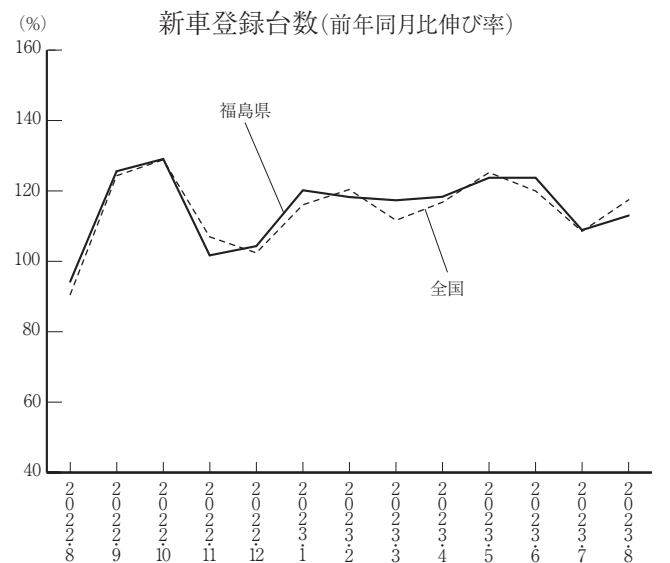


(資料:県土木部建築指導課)

新車登録台数(乗用車・トラック・バス・軽自動車含む)

(単位:台、%)

	福島県		全国	
	台 数	前年比%	台 数	前年比%
2022年8月	4,429	94.4%	290,041	90.7%
2022年9月	6,067	125.3%	395,160	124.1%
2022年10月	5,518	128.8%	359,143	128.6%
2022年11月	5,736	101.8%	377,068	107.0%
2022年12月	4,839	104.4%	344,362	102.4%
2023年1月	5,852	120.0%	382,327	116.0%
2023年2月	6,224	118.1%	426,724	120.3%
2023年3月	9,504	117.2%	572,470	111.6%
2023年4月	5,358	118.2%	349,583	116.7%
2023年5月	5,037	123.6%	326,720	125.0%
2023年6月	6,023	123.5%	392,702	119.8%
2023年7月	5,555	108.9%	379,022	108.5%
2023年8月	5,000	112.9%	340,316	117.3%



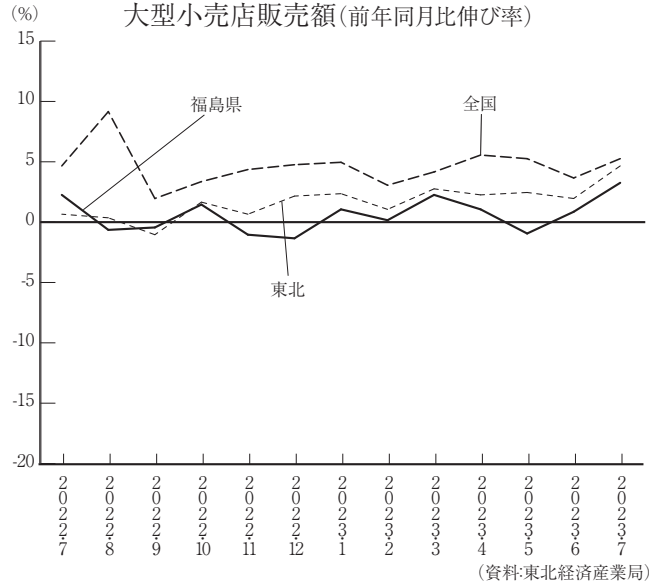
(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会(福島県支部))

福島県大型小売店販売額

(単位:百万円,%) (単位:十億円,%)

	福島県		東北		全国	
	百万円	前年同比	百万円	前年同比	十億円	前年同比
2022年7月	23,720	1.4	112,465	1.6	1,770	3.3
2022年8月	23,755	-1.1	113,555	0.6	1,677	4.3
2022年9月	21,697	-1.4	102,946	2.1	1,629	4.7
2022年10月	22,950	1.0	109,082	2.3	1,732	4.9
2022年11月	22,322	0.1	107,233	1.0	1,759	3.0
2022年12月	29,019	2.2	137,240	2.7	2,226	4.1
2023年1月	23,745	1.0	111,899	2.2	1,768	5.5
2023年2月	21,160	-1.0	100,151	2.4	1,582	5.2
2023年3月	23,612	0.8	111,209	1.9	1,766	3.6
2023年4月	23,011	3.2	108,865	4.6	1,709	5.2
2023年5月	23,880	2.1	110,826	2.1	1,743	3.7
2023年6月	22,974	2.3	108,449	3.0	1,746	4.3
2023年7月	24,476	3.2	116,484	3.6	1,874	5.9

大型小売店販売額(前年同月比伸び率)

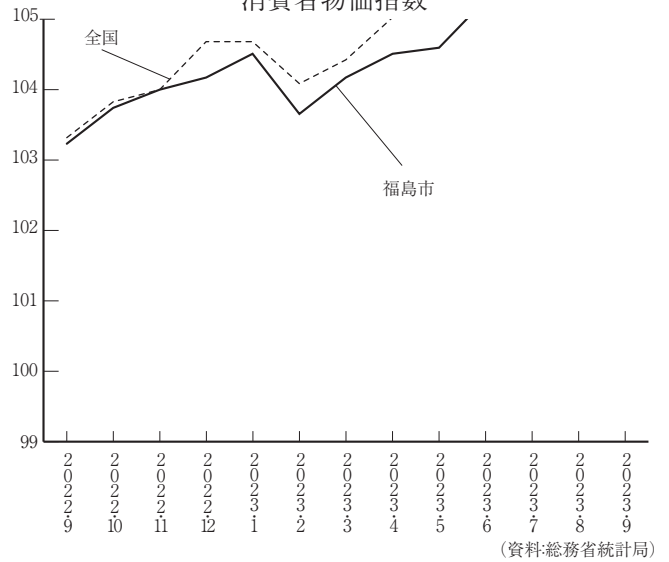


消費者物価指数

令和2年(2020年)=100

	福島市			全国
	指数	前月比	前年比	指数
2022年9月	103.0	0.5	3.2	103.1
2022年10月	103.6	0.7	4.0	103.7
2022年11月	103.9	0.2	3.9	103.9
2022年12月	104.1	0.2	4.2	104.7
2023年1月	104.5	0.4	4.3	104.7
2023年2月	103.5	-1.0	3.1	104.0
2023年3月	104.1	0.6	3.0	104.4
2023年4月	104.5	0.4	2.8	105.1
2023年5月	104.6	0.2	2.8	105.1
2023年6月	105.4	0.7	3.5	105.2
2023年7月	106.0	0.6	3.8	105.7
2023年8月	106.0	0.6	3.8	105.9
2023年9月	106.0	0.6	3.8	106.2

消費者物価指数



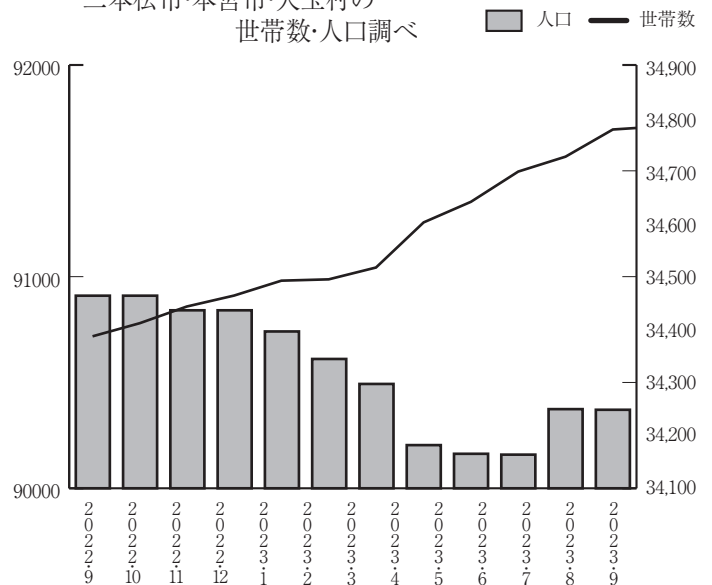
二本松市・本宮市・大玉村の世帯数・人口調べ 2023年10月1日現在 (単位:戸,人)

区分	世帯数	人口	男女別内訳		人口増減(対前月)
			男	女	
			二本松市	20,644	
本宮市	11,049	29,912	14,878	15,034	12
安達郡大玉村	3,092	8,747	4,336	4,411	10
総合計	34,785	90,160	44,732	45,428	▲ 19

(単位:%)

年齢別構成比	年少人口0~14歳	生産年齢人口15~64歳	老年人口	
			65歳以上	75歳以上
二本松市	10.1	53.4	36.5	18.3
本宮市	12.3	58.1	29.6	14.8
大玉村	14.8	56.5	28.7	13.4

二本松市・本宮市・大玉村の世帯数・人口調べ



まつしん景況レポート特別調査

「中小企業の将来を見据えた事業承継について」

問1 貴社の社長（代表者）の年齢階層はいずれに属しますか。次の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、貴社の後継者問題について最もあてはまるものを6～0の中から1つお答えください。

		製造業	小売業	サービス業	建設業	全体
年齢階層の代表者の	20歳代、30歳代	3.4%	1.8%	6.4%	4.1%	3.8%
	40歳代	18.6%	17.5%	17.0%	26.5%	19.8%
	50歳代	33.9%	19.3%	21.3%	18.4%	23.6%
	60歳代	18.6%	31.6%	23.4%	32.7%	26.4%
	70歳代以上	25.4%	29.8%	31.9%	18.4%	26.4%
		製造業	小売業	サービス業	建設業	全体
後継者について	後継者はすでに決まっている	30.5%	22.8%	27.7%	32.7%	28.3%
	後継者はいるが、まだ決まっていない	20.3%	21.1%	23.4%	14.3%	19.8%
	候補者が見当たらない	11.9%	12.3%	10.6%	10.2%	11.3%
	まだ考えていない	28.8%	29.8%	34.0%	32.7%	31.1%
	後継者が必要ない（事業譲渡希望、廃業予定など）	8.5%	14.0%	4.3%	10.2%	9.4%

問2 貴社の現時点における事業承継の考え方について最もあてはまるものを次の1～0の中から1つ選んでお答えください。

		製造業	小売業	サービス業	建設業	全体
事業承継の考え方について	子供（娘婿などを含む）に承継	45.8%	52.2%	0.0%	49.0%	43.7%
	その他の同族者（兄弟、親戚等）に承継	5.1%	0.0%	9.1%	4.1%	3.5%
	非同族の役員、従業員に承継	8.5%	1.4%	18.2%	8.2%	7.0%
	非同族の社外人材へ承継	3.4%	0.0%	4.5%	2.0%	2.0%
	M&A（第三者への事業譲渡）等	8.5%	1.4%	0.0%	2.0%	3.5%
	忙しくて考える余裕がない	3.4%	2.9%	9.1%	6.1%	4.5%
	何から手を付けていいかわからない	3.4%	1.4%	4.5%	0.0%	2.0%
	身近に相談相手がない	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.5%
	現時点で考えるつもりはない	16.9%	24.6%	45.5%	16.3%	22.6%
	現在の事業を継続するつもりがない	5.1%	14.5%	9.1%	12.2%	10.6%

問3 貴社では事業承継を行おうとする際に、どのようなことが問題になると考えられますか。次の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。

		製造業	小売業	サービス業	建設業	全体
事業承継を行う際の問題点は	事業の将来性	28.3%	7.1%	22.7%	20.6%	20.2%
	取引先との信頼関係の維持	13.4%	14.1%	8.0%	9.8%	11.5%
	後継者の力量	15.0%	15.2%	21.6%	16.7%	16.8%
	候補者の選定・確保	5.5%	4.0%	9.1%	4.9%	5.8%
	従業員の雇用維持	11.8%	6.1%	13.6%	15.7%	11.8%
	従業員の理解	4.7%	7.1%	5.7%	10.8%	7.0%
	譲渡金額	0.8%	3.0%	0.0%	1.0%	1.2%
	借入金・個人保証の引継ぎ	8.7%	14.1%	3.4%	5.9%	8.2%
	個人資産の取り扱い・相続税等の税金対策	3.9%	19.2%	3.4%	6.9%	8.2%
	特になし	7.9%	10.1%	12.5%	7.8%	9.4%

問4 中小企業が円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫に何を期待しますか。信用金庫に対して期待していることを、もしくは今後期待したいことについて、最もあてはまるものを次の1～0の中から1つ選んでお答え下さい。

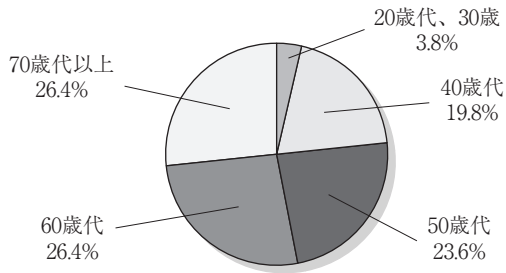
		製造業	小売業	サービス業	建設業	全体
円滑な事業承継を進める なかで、信用金庫に期待 することは	後継者教育・セミナー等	15.3%	30.4%	20.0%	16.3%	20.6%
	個別相談	10.2%	3.6%	8.9%	12.2%	8.6%
	専門家（税理士等）の紹介	1.7%	1.8%	2.2%	2.0%	1.9%
	事業譲渡先の紹介	5.1%	3.6%	2.2%	2.0%	3.3%
	事業承継前後の個人保証・担保への対応	13.6%	5.4%	6.7%	12.2%	9.6%
	早期の事業承継の準備への助言等	11.9%	7.1%	0.0%	4.1%	6.2%
	承継後の事業計画策定への助言等	1.7%	0.0%	13.3%	2.0%	3.8%
	自社の問題であるため自社で解決	15.3%	5.4%	15.6%	14.3%	12.4%
	特になし	23.7%	7.1%	26.7%	34.7%	22.5%
	その他	1.7%	35.7%	4.4%	0.0%	11.0%

問5 近年、中小企業におけるM&A（第三者への事業譲渡）が話題になっていますが、M&Aについてどのような認識を持っていますか。下記の1から0の中から3つ以内で選んでお答えください。

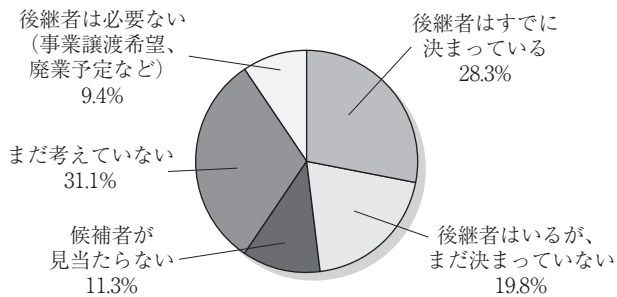
		製造業	小売業	サービス業	建設業	全体
M&Aに対する認識を お聞かせ下さい	事業を最適な先に譲渡できる	17.1%	0.0%	9.5%	8.4%	11.0%
	従業員の雇用を維持できる	23.1%	22.2%	13.5%	10.8%	17.4%
	取引関係を維持できる	9.4%	19.4%	9.5%	4.8%	9.4%
	事業拡大戦略の1つである	11.1%	8.3%	8.1%	6.0%	8.7%
	乗っ取りなど負のイメージがある	6.0%	0.0%	4.1%	10.8%	6.1%
	中小企業にはなじまない	9.4%	11.1%	9.5%	15.7%	11.3%
	従業員の雇用維持に不安がある	6.8%	8.3%	12.2%	8.4%	8.7%
	専門家の支援が必要なものである	6.0%	16.7%	10.8%	10.8%	9.7%
	その他	0.0%	0.0%	1.4%	3.6%	1.3%
	よく分からない	11.1%	13.9%	21.6%	20.5%	16.5%

問1. 貴社の社長（代表者）の年齢階層はいずれに属しますか。次の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、貴社の後継者問題について最もあてはまるものを6～0の中から1つお答えください。

【 貴社の代表者の年齢階層 】

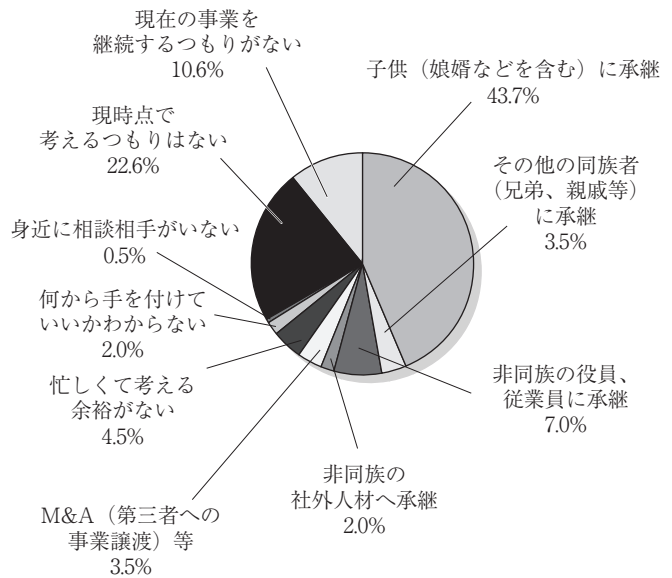


【 後継者について 】



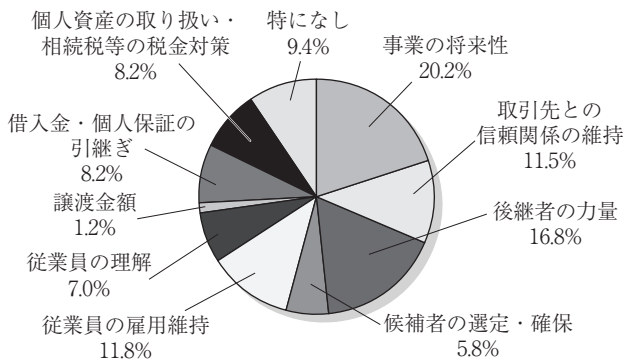
問2. 貴社の現時点における事業承継の考え方について最もあてはまるものを次の1～0の中から1つ選んでお答えください。

【 事業承継について 】



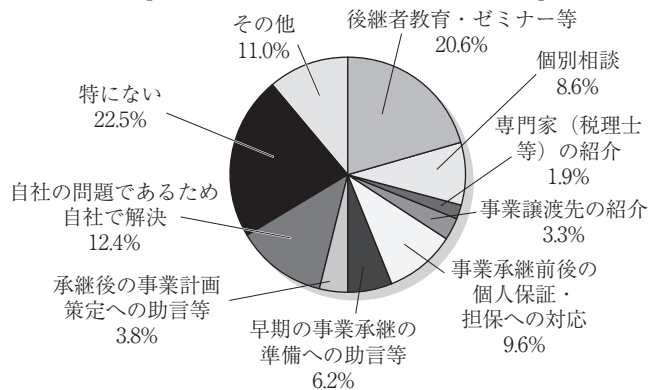
問3. 貴社では事業承継を行おうとする際に、どのようなことが問題になると考えられますか。次の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。

【 事業承継の問題点 】



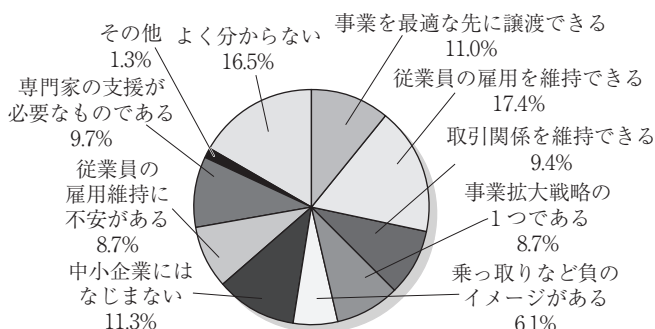
問4. 中小企業が円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫に何を期待しますか。信用金庫に対して期待していることを、もしくは今後期待したいことについて、最もあてはまるものを次の1～0の中から1つ選んでお答え下さい。

【 事業承継で信用金庫に期待すること 】



問5. 近年、中小企業におけるM&A（第三者への事業譲渡）が話題になっていますが、M&Aについてどのような認識を持っていますか。下記の1から0の中から3つ以内で選んでお答えください。

【 M&Aに対する認識は 】



まつしん SDGs ローン

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



二本松信用金庫は、SDGsの取組みをされる企業を応援するため「まつしんSDGsローン」の取扱いを開始しました。
SDGsの目標達成を実現するための運転資金・設備資金をご入用の際は、当金庫までご相談下さい。

1. 対象となるお客様	・当金庫営業区域内の法人または個人事業者で当金庫会員の方
2. お使いみち	・SDGs(持続可能な開発目標)を実現するための 運転資金・設備資金 例:太陽光発電設備設置資金 省エネ設備購入資金 電気自動車購入資金等
3. 融資限度額	・1事業者当たり1億円以内
4. 貸出金利	・当金庫所定の金利と致します。
5. ご返済方法及び期間	・手形貸付:1年以内 一括返済 ・証書貸付:15年以内 元金均等返済(原則として耐用年数の範囲内)
6. 連帯保証人・担保	・連帯保証人:経営者保証のチェックリストに準じます。 ・担保:必要に応じ徴求する場合があります。
7. その他	・ローンご利用については当金庫所定の審査がございます。 ・金利情勢が大幅に変動した場合には金利を見直す場合がございます。

SDGs(エスディーゼーズ)とは、「持続可能な開発目標」のことで、2015年9月に国連で採択されました。「誰も置き去りにしない」世界の実現のために、2030年に向けて達成する17項目のゴールが設定されており、世界中でSDGsの取組みが進められています。
二本松信用金庫も福島県内8金庫と「SDGs共同宣言」に基づきSDGs共通の取組みに参加しています。

※詳しくは各営業店窓口及び融資渉外担当者へおたずね下さい。



ナイスコミュニケーション
二本松信用金庫

本店営業部 23-1215 根崎支店 23-0022
本宮支店 33-2159 岩代支店 55-2233
東和支店 46-2104 安達支店 23-3456
金色支店 23-0880

お問い合わせはお近くのまつしんへ

本店営業部 ☎0243(23)1215 根崎支店 ☎0243(23)0022
本宮支店 ☎0243(33)2159 岩代支店 ☎0243(55)2233
東和支店 ☎0243(46)2104 安達支店 ☎0243(23)3456
金色支店 ☎0243(23)0880

まつしん景況レポート No.152

- 発行/二本松信用金庫
〒964-0807 福島県二本松市金色久保227番地9
- 発行年月/2023年11月(昭和60年1月 第1号)
- 編集/経営企画部 ☎(0243)23-3696
- http://www.matsushin.jp